

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(だい 1 4 期 だい 2 年 だい 4 回 だい 2 日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2024 (令和6)年2月4日(日) 午後2時00分～5時00分

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 18人

イトウ ユリカ キヤレン、グエン ヌー フォン ザン、ドウマヤス
アリヤン、野田 ユワリー、ヒリストバ ガブリエラ、ブリツイナ タチヤナ、
ペレーラ ラヒル サンケータ、マイ アサエル、ムハマド アイマン アリフ、
楊 子宜、ユデク マルチン、尹 智夏、李 歡歡、李 晨、刘 英杰、刘
晨、林 芳安、レイバーマン ケビン

(2) 事務局

佐藤 課長、三田村 課長補佐、松長根 課長補佐、五十嵐 職員、高橋 専門
調査員

4 傍聴者 4人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2023年度第4回第2日を開催する。最後の会議になるが、みなさんよろしくお願ひします。今日はすべての代表者が出席しているのて、欠席はない。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願ひする。」

(事務局三田村課長補佐が説明)

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願ひする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。まずは、2023年度の年次報告書についてだ。事務局から説明をお願ひする。」

(事務局五十嵐職員が資料2に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か修正意見はあるか。(なし)それでは、最終的な確認については、10月15日第3回第1日の会議で決めたように、私と李歆歆副委員長に任せていただくということで了承いただきたい。次に、代表者会議についてだ。事務局から説明をお願ひする。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)事務局から、いろいろと考へていることについての説明もあった。そのうえで、この会議は川崎市に住んでいる45,000人以上の外国人市民の中から選ばれた26名で活動している。しっかりと責任をもって活動していくためにも、今後どうすれば会議がよくなるかということについて、意見を出してもらえればと思ふ。」

イトウ部会長「このトピックスを最初に挙げたのは私なので、いろいろと思ふところがあり、この間いろいろと考へた。最初は欠席者に対してベクトルを向けていたのだが、事務局も含めていろいろな話をするうちに、代表者の中にも日本語能力の差があったり、そうした中で自分の話したかったことがテーマにならずにモチベーションが下がってしまったりする人もいると思ふ。そうした時に、自分自身にももっとできることがあったのではないかと思ふようになった。」

刘英杰委員「2点ある。1つ目に、事務局からの改善案についてだが、たとえば家族に急病が出て欠席する場合などの連絡方法について、ぜひ何か検討していただきたい。2つ目に、できればペーパーレス化を進めてもらいたい。」

ヒリストバ部会長「私も前は少し感情的になっていたが、冷静に考えれば来ない人は来ないということもわかってきた。それをルールで厳しく取り締まろうとしても、あまり効果がないと思う。私もモチベーションの維持の部分で何か前向きに考えた方がよいのではないかと考えている。その1つとして、モチベーションの高い時期に丁寧に説明したり、お互いに接したしすることが大事かと思う。」

ドウマヤス委員「事務局から説明のあった説明会はとてもよい提案だと思った。応募する前に、この会議のことを知る機会があることはとてもよいと思う。」

りんいん「事務局からの改善案は3つとも実行する価値があると思った。そのうえで、全体の人数が減ってきたことで欠席者が目立ってしまった部分もあると思う。最悪、会議が開催できない危機感というのをもう少しもてるようにしたらよいと思う。毎回の出席人数がわかるようにしたらどうか。」

ペレーラ委員長「一応、毎回、前回会議の確認の資料には出席した代表者の人数が載っている。」

りんいん「何人中何人のようにするのはどうか。」

レイバーマン委員「事務局の改善案は、3つとも本当によいと思う。これが実行されれば、結果につながると思う。提案としては、欠席の場合の連絡というかたちではなく、事前にフォームで出席確認をしてもよいかもしれない。」

りゅうしんいん「原則は毎回出席だと思うので、毎回の出席確認は不要だと感じる人いるのではないかと。私たちにできることとしては、最初にイトウさんも言っていたように、発言の少ない人に話を振ったりするとよいのではないかとと思う。」

やんいん「私も事務局の改善案には賛成だ。個人的には、1年目の最初のころは会議の目的やゴールが見えない時があったように感じる。そうした中で、モチベーションが下がってしまった人もいるのではないかと。そこで、もう少し2年間のマイルストーンを感じさせるような工夫があるとよいと思った。あとは、欠員が出たときに途中からでも参加しやすいような工夫ができるとよいかもしれない。」

ゆでくいん「私も楊さんの提案に賛成だ。」

ゆんいん「事務局には欠席の連絡が来ていると思うが、それを全員で共有して見える化してはどうか。」

りゅうえいけついん「募集をする際に、会議は14時から17時となっているが、実行

委員会があると13時15分から活動があったりする。そのことも募集の段階で案内した方がよいかもかもしれない。」

ペレーラ委員長「みなさん自分の中で思っていたことや考えたことを出せたのではないかと思う。この会議を維持していくためにも、事務局にはぜひ改善をお願いしたい。それでは、このあとは部会審議になる。その前に、今日の部会審議について事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、このあとは部会審議だ。全体会の再開は15時45分を予定しているが、様子をみながら柔軟に進めた。」

【安心生活部会】

ヒリストバ部会長「それでは、部会審議を始めたい。本日は最後の部会審議になる。まずは、今日の進め方について事務局から説明をお願いする。」

(事務局五十嵐職員が説明)

ヒリストバ部会長「何か質問はあるか。(なし)それでは、部会としての提言案の決定をしたい。案のパターンが2つあるので、事務局から説明をお願いする。」

(事務局五十嵐職員が資料4-1、4-2に基づき説明)

ヒリストバ部会長「何か質問や意見はあるか。個人的にはパターン2の方がよいかなと思っている。」

グエン委員「修正意見ではないが、先ほどの「子どもの国籍」のところで、外国籍が52.9%というのに驚いた。ただ、私も短くコンパクトな方がよいと思うので、パターン2の方がよいと思う。」

ヒリストバ部会長「ほかに何かあるか。(なし)では、決をとってもよいか。(異議なし)それでは、パターン1に賛成の人は手を挙げてください。(3人)パターン2に賛成の人は手を挙げてください。(5人)では、部会としての提言案はパターン2に決定した。予定よりも早く終わったので、部会はここまでとしてリーフレットの最終確認をしたい。部会審議は以上とする。」

【情報・社会部会】

イトウ部会長「それでは、情報・社会部会を始める。まずは、今日の進め方について事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が説明)

イトウ部会長「何か質問はあるか。(なし)それでは、部会として提言案の決定をしていきたい。まずは、介護保険について事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料5-1に基づき説明)

イトウ部会長「何か質問や意見はあるか。」

ペレーラ委員長「内容の修正に関することではないが、1年間で外国人住民が約6,000人増えたようだが、今までにこれほど増えたことはあったか。」

事務局高橋専門調査員「約10年前は3万人ほどだったので、基本的には年々大きく増加している。今回に関しては、コロナ禍で減ったぶん新規の入国者が増えていることもあり、大きく増えたのだと思われる。」

ペレーラ委員長「理解した。」

イトウ部会長「ほかに何かあるか。(なし)それでは、この提言案に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)続いて、日本語学習について事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料5-2に基づき説明)

イトウ部会長「何か質問や意見はあるか。(なし)それでは、提言案に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)無事に2つとも提言案が確定したので、今日の部会は以上とする。」

【全体会】

ペレーラ委員長「全体会を再開する。まずは、提言決定の進め方について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、まずは安心生活部会かの提言から決定していく。産前・産後支援について、事務局は提言案を読み上げてください。」

(事務局五十嵐職員が資料4-2に基づき読み上げ)

ペレーラ委員長「続いて、ヒリストバ部会長から提言の意義やポイントについて説明をお願いします。」

ヒリストバ部会長「今回、私たちは外国籍の子どもが増加傾向にあることや、私た

ちメンバーの経験を生かそうということで、産前・産後支援に関することを提言にまとめた。川崎市には、たくさんの支援制度やサービスがあるが、その情報が知られていないことが大きな課題だと思っている。そこで、項目1では、外国人市民に産前・産後支援に関するさまざまな情報を伝えるために、代表者が自ら多言語のリーフレットを作成した。これは、代表者会議のキーワードの1つである「要求から参加へ」を意識したものだ。市には、私たちがつくったリーフレットを積極的に活用してもらいたい。項目2では、私たちがつくったリーフレットだけではどうしても記載される情報が限られてしまう。そこで、より多くの情報を外国人市民に周知するために、市には、ぜひ情報の〈やさしい日本語〉化を推進してもらいたい。項目3は、各区で作成されている子育てガイドブックの外国人向けのページに産前・産後支援に関する情報を掲載して欲しいというものだ。外国人市民への周知を図るうえで、各区が作成している子育てガイドブックの情報を充実させることは効果的な方法だと考えている。項目4は、「ママと赤ちゃんサポートシリーズ」という冊子の広報・周知に関するものだ。この冊子は、とても便利なものなので、ぜひ多くの人にも知ってもらいたいと思い提言に入れた。」

ペレーラ委員長「何か質問や意見はあるか。（なし）それでは、決をとる。産前・産後支援の提言案について、賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）これで、無事に1つ目の提言が決まった。次に、情報・社会部会の提言についてだ。まずは、介護保険について、事務局は提言案を読み上げてください。」

（事務局高橋専門調査員が資料5-1に基づき読み上げ）

ペレーラ委員長「続いて、イトウ部会長から介護保険の提言の意義やポイントについて説明をお願いする。」

イトウ部会長「このテーマは、1年目のオープン会議の際に参加者の方から提案があったものだ。2年目になって審議テーマに追加し、今回、提言としてまとめた。私たち代表者の中には、まだあまり実感の湧かない人もいるかもしれないが、外国人市民の高齢化は、今後、間違いなく重要なテーマの1つとなってくる。今回の提言のポイントは、大きく2つある。1つ目に、項目の1と2は、介護・福祉サービスを提供する人に向けたもので、研修を実施して欲しいというものだ。項目1は多文化理解、項目2は〈やさしい日本語〉に関する研修とした。〈やさしい日本語〉の前提として多文化理解があるということから、

多文化理解を先に持ってきた。項目の3と4は、外国人市民への制度の広報・周知に関するものだ。項目3は、「こんにちはは介護保険です」の〈やさしい日本語〉版を作成して欲しいというものだ。項目4は、3で作成した〈やさしい日本語〉版や多言語版の広報・周知を積極的に取り組んで欲しいというものだ。」

ペレーラ委員長「何か質問や意見はあるか。(なし)それでは、介護保険の提言案に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)介護保険の提言が無事に決まった。最後に、日本語学習の提言案についてだ。事務局は提言案を読み上げてください。」

(事務局高橋専門調査員が資料5-2に基づき読み上げ)

ペレーラ委員長「では、イトウ部会長から提言の意義やポイントについて説明をお願いする。」

イトウ部会長「外国人市民が日本社会の中で自立した市民として安全・安心に暮らすためには、日常生活を送るうえで必要となる日本語能力を身につけることが重要だ。外国人への日本語学習に関しては、2019年に日本語教育推進法が成立するなど、現在、国も力を入れているテーマだ。川崎市では、1980年代から市民館などで日本語教室の取組をしてきたが、あまり知られていなかったり、教室の時間が合わなくて通えなかったりといった人たちもいる。また、外国人の日本語を学びたいというニーズも多様化してきている。今回の提言は、多様な日本語学習のニーズに対応するための体制や環境を整えて欲しいというものだ。現在、川崎市でも日本語教育を推進するための方針をつくっているということで、項目1は、方針に基づいた取組をしっかりと進めて欲しいというものにした。項目2は、学習機会を充実させるための方法の1つとして、ICTの活用を進めて欲しいというものだ。最後に、今回、市は方針をつくるにあたって実態調査を行ったが、外国人市民は調査対象に含まれていない。そこで、項目3では、方針に基づいた取組を進めていく際に、外国人の声やニーズを反映して欲しいということから、外国人市民への調査の実施とした。」

ペレーラ委員長「何か質問や意見はあるか。(なし)では、日本語学習の提言案に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)これで、3つすべての提言が決まった。ここまで長かったと思うが、無事に決まってみなさんに感謝する。次に、実行委員会からの報告だ。交流イベント実行委員会から報告をお

願ねがいする。」

ムハマド委員「多文化フェスタさいわいが2月17日にあるので、参加予定の人は忘れずに参加をお願いする。それと、市民祭りの際にみなさんに提供してもらった写真を返却して欲しい人は私までお願いする。」

ペレーラ委員長「多文化フェスタさいわいは最後のイベントになるので、私からも参加できる人はぜひ参加をお願いする。それでは、最後に振り返りの時間としたい。この2年間の振り返りを1人1分程度で順番にお願いする。」

(代表者の振り返り)

ペレーラ委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

事務連絡

- ・提言の今後の流れについて
- ・ニューズレターに載せる感想について
- ・多文化フェスタさいわいについて
- ・産前・産後支援のリーフレットについて
- ・議事録の確認について
- ・市民祭りで使用した写真の返却について
- ・集合写真の撮影について

(中村市民文化局長からのあいさつ)

ペレーラ委員長「最後に私からもあいさつをさせて欲しい。まずは、委員長として川崎市が約30年間この会議を続けてきて、いろいろな方にお世話になっていることにお礼を申し上げたい。代表者のみなさんも、この経験が何かしら自分の人生の変化になったかと思うので、今後も挑戦を続けていって欲しいと思う。この絆を大事に、卒業ではなくて、たまには集まって自分たちで川崎市のためにできることを話し合いましょう。今後ともよろしくお願ねがいします。みなさん、2年間ありがとうございました。以上で、今日の日程は終了だ。これで、2023年度第4回第2日、第14期の代表者会議の最後の会議を終わりにする。」